

大浦中学校教育研究計画

1 研究テーマ

「授業と家庭学習を連動させ、主体的に学ぶ生徒を育てる指導の工夫」
～タブレット端末の効果的な利活用を通して～

2 主題設定の理由

本校は、校区内の1つの小学校からなる小規模校である。本校は県南西部に位置して長崎県と隣接し、多良岳山系の山間部と有明海に面した沿岸部を有する豊かな自然環境に恵まれている。第一次産業や地場産業の従事者の比率が高い。学校と地域のつながりが強く、学校行事等へ協力する意識が高い地域である。家庭生活においては、父親が長期にわたって県外での仕事に従事している家庭も多くあり、家庭の教育力の向上や学習習慣の定着については、学力向上面において重点的な課題がある。

令和元・2年度に「小中連携による学力向上推進地域指定事業」の委嘱を受け、『小中連携による確かな学力の向上及び主体的・対話的に学ぶ児童・生徒の育成』に取り組んだ。授業改善リーフレット(授業づくりのステップ1・2・3)を活用し、「OPPA」(1枚ポートフォリオ評価)を実施することで授業の工夫・改善を行った。また、家庭学習リーフレットを作成し、「自学ノート」や「ながら勉強」について見直すことができた。

今年度から、「GIGA スクール構想」により太良町でも1人1台のタブレット端末が支給されることになった。それを受けて、昨年度までの研究にタブレット端末を利用した授業の工夫や、環境の整備、家庭での利用方法などについて研究を深めていこうと考える。

3 研究の目標

授業や家庭学習において、主体的に学ぶ生徒を育てる手立ての一つとしてのタブレット端末利用方法を研究する。

4 研究の仮説

・授業改善リーフレット(授業づくりのステップ1・2・3)を継続して活用し、「考える」「考え合う」場面等で効果的にタブレット端末を利用していけば、主体的に学びを深めていくことができるであろう。

・昨年度作成した「家庭学習リーフレット」を活用し、家庭学習においてタブレット端末を効果的に利用していけば、さらなる学力の向上につながるであろう。

5 研究の内容と方法

(1) 研究の内容

ア 授業や家庭学習におけるタブレット端末の利用方法の研修を行う。

イ 授業改善リーフレット(授業づくりのステップ1・2・3)を活用し、各場面でのタブレット端末利用の有効性を探る。

ウ 家庭学習での効果的なタブレット端末の利用方法を探る。

(2) 研究の方法

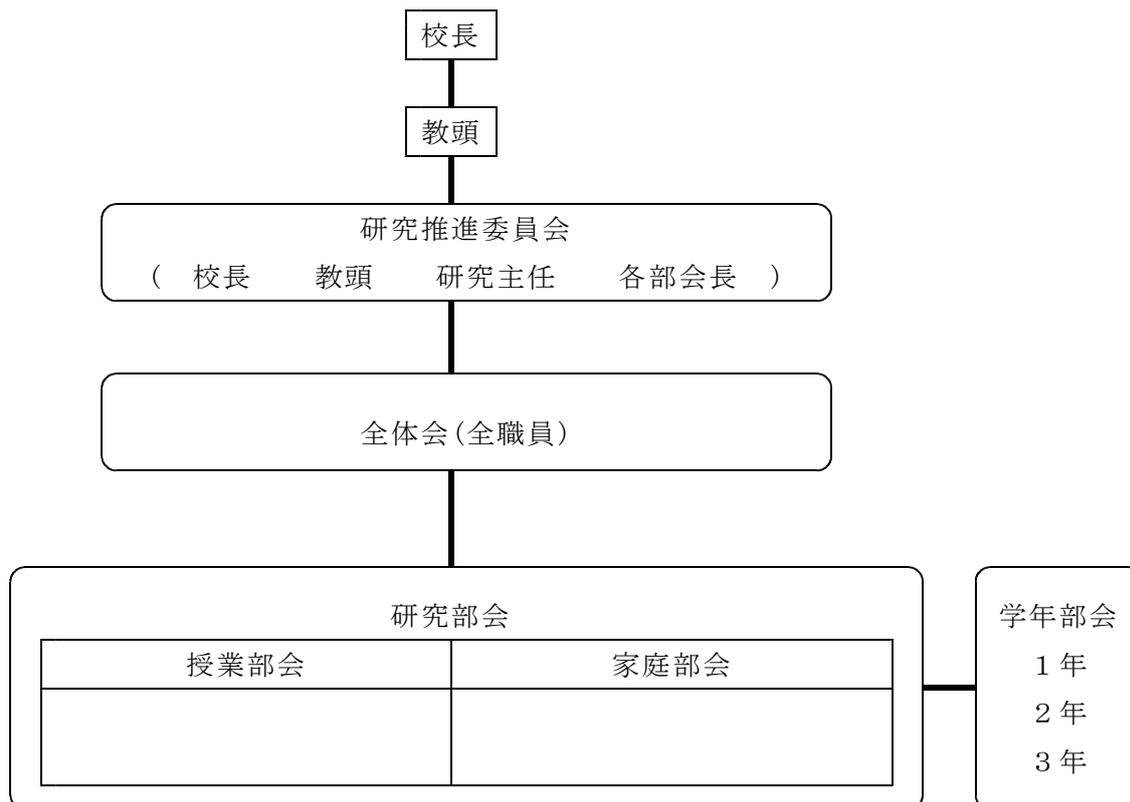
ア 推進委員会のメンバーは、校長、教頭、研究主任、各部長とし、全教職員は次の部会のいずれかに所属する。

2つの部会を設ける。

①授業部会：主に授業におけるタブレット端末の利活用に関わる部会

②家庭部会：主に家庭学習におけるタブレット端末の利活用に関わる部会

イ 組織図



6 研究の実際

(1) 授業部会

ア タブレット端末利活用の有効性の探究

イ 家庭学習と連動させた「振り返り」の工夫

(2) 家庭部会

ア 家庭学習リーフレットの活用とタブレット端末利活用の有効性の探究

イ 授業の「振り返り」と連動させた自学ノートの工夫